

改訂第11版 救急救命士標準テキスト 正誤表（2025-10-01）

第2刷で訂正（2025年10月1日公開分）

頁	該当箇所	位置	誤	正
167	表1 病原体の種類	上から3段目	「リケッチア クラミジア」の欄に「梅毒トレポネーマ」がある	「梅毒トレポネーマ」は細菌であるため、上から2段目「細菌」の欄へ移動
240	2) 重点観察	上から9行目	…上半身に関連する疼痛(額〜心窩部)…	…上半身に関連する疼痛(顎〜心窩部)…
414	1) 分娩介助と臍帯処置	下から2行目	②脱肛の予防のため、陣通発作時には…	②脱肛の予防のため、陣痛発作時には…
558	表1 呼吸系疾患にみられる随伴症候	上から2段目	上気道異物、喉頭蓋炎、喉頭浮種	上気道異物、喉頭蓋炎、喉頭浮腫
609	3) 高カリウム血症	上から9〜12行目	…血清カリウムが6mEq/L 以上では四肢のしびれ、下痢、乏尿、呼吸困難などがみられ、7mEq/L 以上になるとQRS幅が拡大し、さらに心室細動から心停止に至る	血清カリウムが6mEq/L 以上では四肢のしびれ、下痢、乏尿、呼吸困難などがみられ、さらに上昇するとQRS 幅が拡大し、最終的には心室細動、心停止に至る。 (「7mEq/L 以上」という数値は他項と異なるため削除)
709	表2 全身観察の所見および考慮すべき病態と処置	上から3段目	上から3段目「頸部」-「頸静脈怒張」の「病態に対する処置」の欄に「三辺テーピング、チェストシール」とある	緊張性気胸と心タンポナーデに対する処置として「三辺テーピング、チェストシール」は不適切であるため、削除